

# 令和2年度事業計画

## I 基本方針

令和元年度末の基金の残余を考慮し、復興の残された課題に適切に対応するため、新長田駅南地区のまちなぎわい回復に資する事業、及び、東日本大震災の被災地への支援等を実施する。

## II 事業計画の内容

### 1 助成事業について

#### (1) 産業対策（定款第4条第3号）

（単位：千円）

事業名	事業の概要	所要額
復興市街地再開発商業施設等 入居促進事業〔支払のみ〕	再開発事業の商業施設等に入居する事業者等に対する家賃補助(13件) (助成期間：3年、最終支払予定：令和2年度)	1,097
計	—	1,097

#### (2) その他対策（定款第4条第4号）

（単位：千円）

事業名	事業の概要	所要額
復興サポート事業	NPO・ボランティア団体等が、東日本大震災の被災地で行う復興支援活動に対し補助	16,400
阪神・淡路大震災25年事業記録誌作成事業補助	阪神・淡路大震災25年事業の記録誌作成に対する補助	2,200
計	—	18,600

合計

19,697

### 2 基金事業等の広報について

#### (1) 目的

フェニックスマークを活用して、1. 17を忘れず、震災の経験や教訓を継承し、発信するとともに、1. 17宣言やひょうご安全の日の普及浸透を図る。また、復興基金記録誌、及び、震災教訓冊子「活かす(仮称)」を作成する。

#### (2) 事業内容

項目	内容等	対象者
ホームページの更新	基金事業の概要等を紹介しているホームページを更新	被災者等
フェニックスマークの活用	フェニックスマークを活用して、復興計画期間終了後も残された課題への対応や「1. 17は忘れない」等震災の経験と教訓を継承・発信する取組みを支援	被災者等
復興基金記録誌の作成	これまでの基金の歩みを総括する記録誌を作成	自治体関係者等
震災教訓冊子「活かす(仮称)」の作成	震災の教訓等を風化させずに継承していくため、災害対応の実践的な手引書を作成	自治体関係者等